

郵政民営化委員会（第263回）議事要旨

日 時：令和5年7月24日（月）13:30～15:00

場 所：郵政民営化委員会室（永田町合同庁舎3階）及びオンライン

出席者：山内委員長、関口委員長代理、青野委員、佐藤委員、関委員
（敬称略）

日本郵政株式会社 浅井専務執行役、砂山執行役

日本郵便株式会社 田中執行役員、古閑郵便・物流業務統括部部长

1. 議事

- ・ヤマトホールディングス株式会社・ヤマト運輸株式会社との協業に伴う基本合意書の締結について
- ・楽天グループ株式の減損について
- ・郵政民営化の進捗状況についての総合的な検証の進め方について

2. 委員会での説明・意見等

- ヤマトホールディングス株式会社・ヤマト運輸株式会社との協業に伴う基本合意書の締結について【資料263-1】

① 資料に基づき、日本郵便より説明。

② 委員からの意見等

- ・ 協業の細部については調整中とのことであるが、特に2社の協業なので利益の配分等はどのようになる予定か。

（⇒ 条件等の詳細についてこれから詰めていく。基本的には、日本郵便側としては扱う原価を償い利益が出るよう調整していくもの。ただ、本件サービスは、「荷主とヤマト」、「ヤマトと日本郵便」それぞれ別個の契約となるので、一つの収益を2つの会社で分け合うのではなく、それぞれの契約において収支を償う形をとるのが基本である。詳細はこれから詰める。（日本郵便）

- ・ 2024年問題を含め社会的にかなり大きな注目も浴びている。また、貢献度の高いものであると思っている。このためそれぞれの私的な利益だけではなく、社会全体を見てしっかり進めていただきたい。

- 楽天グループ株式の減損について【資料263-2】

① 資料に基づき、日本郵政より説明。

② 委員からの意見等

- ・ 日本郵政としては1,500億円投資しており、その意味で大株主となる。株主の立場から、物流以外の経営についても一定程度の発言をしたり、アドバイスやサポートをすることが必要なのではないか。

（⇒ 楽天とは、まず物流において長期的に関係を深めていくことが基本的な方針として重要である。経営トップレベルでの議論を深めており、言うべきことは言っていきたいと考えている。さらに、実務者レベルで対話の機会を増やしており、これから何が出来るかを議論していく。（日本郵政）

- 郵政民営化の進捗状況についての総合的な検証の進め方について【資料263-3】

① 資料に基づき、事務局より進め方を説明。

② 委員からの意見等

- ・ 「検証の進め方についてはこれまでと同じように進める。事実関係を確認して、郵政民営化の進捗状況について総合的な検証をすることについてこれまでと同様に進める。」ということで、承認された。

注) 議事要旨は事後修正の可能性があることに御留意ください。また、詳細については追って公表される議事録を御覧ください。